



photo_ Satoshi Nagare
text_ Seishi Isozaki
edit_ RCKT/Rocket Company

13階にある部屋でくつろぐクリス智子さん。「今まで下層階にしか住んだことがなかったのですが、この高さでも窓から緑が見えるんですね。ソファの座り心地もとても良くて快適です」と、嬉しそう。

ROPPONGI HILLS RESIDENCE D

六本木ヒルズレジデンス D

所在地: 東京都港区六本木 6丁目 12-4 / アクセス: 六本木駅 徒歩約 5分 [地下鉄 日比谷線・大江戸線] 麻布十番駅 徒歩約 9分 [地下鉄南北線・大江戸線]



さらに3棟のサービスアパートメントを用意

- ・愛宕グリーンヒルズフォレストタワー 東京都港区愛宕 2丁目 3-1
- ・アークタワーズ 東京都港区六本木 1丁目 3-39~40
- ・ブルデンシャルタワーレジデンス 東京都千代田区永田町 2丁目 13-14

お問い合わせ: 森ビル株式会社 住宅事業部
電話: 0120-52-1806 www.moriliving.com



27 サービスアパートメント

MORI LIVINGの家の鍵

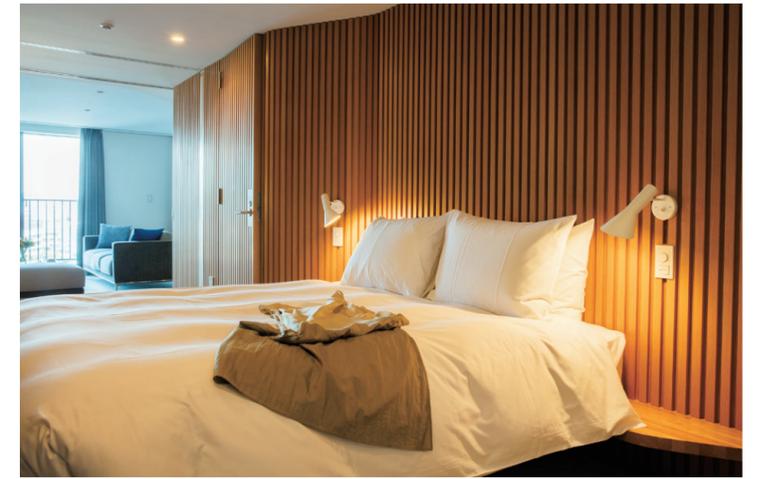
住み慣れた我が家のようにくつろげる
家具付き賃貸レジデンス

森タワー49階に位置する会員制の六本木ヒルズライブラリー。その一面を占める「グレートブックスライブラリー」で読書を楽しむ。四方の壁が書架となった贅沢な空間は、隈研吾氏がデザイン。



“本物のアート”に親しむ、贅沢な日常

アート好きを自負し、年間パスポートを利用して森美術館に通っているというクリスさん。「展覧会だけでなく、敷地内に点在するパブリックアートを見ながら散歩するのも楽しいです」



ベッドルームとリビングルームは、必要に応じてパーティションで仕切ることができる。バスルームはベッドの後ろ側に配置。

心身ともにリラックスできる居住空間ときめ細やかなサービスに定評がある MORI LIVING のサービスアパートメント。万全なセキュリティに加え、バイリンガル対応のフロントスタッフによるサポート体制も充実しており、チェックインしたその日から安心して、快適に過ごすことができると評判だ。現在は六本木・赤坂・神谷町エリアに4棟を展開。それぞれ1カ月から契約が可能で、賃料には水道光熱費、週2回のハウスキーピング、朝食、会員制スパ施設「ヒルズスパ」の利用料が含まれる。各部屋には家具や家電、キッチン用品などの生活必需品が完備され、身軽に新生活をスタートできることから、東京への長期出張や赴任時の滞在先として、また海外や地方に生活拠点を置くビジネスマンのセカンドハウスとして利用されることが多い。

「六本木ヒルズにサービスアパートメントがあることを、今回初めて知りました。私は自然を身近に感じたくて、数年前から鎌倉に住んでいるのですが、都心の高層レジデンスでも緑豊かな環境で暮らせるんですね。そう話すのは、今回、六本木ヒルズのサービスアパートメントで1泊2日の宿泊体験をしたラジオパーソナリティのクリス智子さん。六本木ヒルズ森タワーにある J-WAVE で月曜から木曜まで生番組を担当し、日常的に敷地内のショップや美術館などの施設を利用しているというクリスさんが、この2日間は普段とは違う気分が過ごすご

できたという。「街中にいることを忘れるほど、部屋は静かです。鎌倉は鳥のさえずりや木々のざわめきといった自然の音があふれているので、ここで静かなひと時を過ごせたのは新鮮でした」。セキュリティは厳重でも、オフィス棟のような物々しさがなく、あたたかい雰囲気に包まれていたのも好印象だった。フロントスタッフに笑顔で迎えられるたびに、ここに自分の居場所があることを実感し、ホッとできたと振り返る。

今回は、5歳になる息子さんを母に預け、夫婦2人の時間を満喫。1日目は「オービカ モツアレラバー」でアペリティフを飲んだ後、グランド ハイアット 東京『フレンチ キッチン』のテラスでバーベキューを楽しんだ。「天蓋付きというシチュエーションも含め、家でのバーベキューとはひと味もふた味も違う満足感を得ました。サービスが行き届いてはいるが、堅苦しさもなかったのもよかったという。「お子さん連れのご家族もリラックスして食事を楽しんでいて、とてもいい雰囲気でした」。

じつは数日前にも、息子さんと一緒に六本木ヒルズを訪れたというクリスさんは、大人も子供も飽きることなく過ごせるのが「この街の利点」と評価する。子供連れで入れるショップやレストランが多く、じつとしていけない時には公園で遊ばせることもできる。加えて、“本物のアート”が身近に存在するのも大きな魅力だと強調する。「自然と親しむのと同じ

くらい、人が真剣に作ってきたものに触れることも大切だと思うんです。今回、レジデンスの周辺でも多くのご家族連れを見かけましたが、ここには好奇心を刺激するものがたくさんあるので、子供たちは感性豊かに育っていくのではないのでしょうか」

この先も鎌倉に生活の拠点を置くことと決めているクリスさんが、今回の宿泊体験を経て、「都会暮らしもいいな」と思ったと打ち明ける。「たとえば、夏休みの間だけサービスアパートメントを借りて、子供に都会での生活を体験させるのもいいかもしれません。親にとっても気分転換になるし、たまには終電の時間を気にせずに飲みたいですね」と、茶目っ気たっぷりの笑顔を見せた。



特別感のあるディナータイムを演出 (有料/9月30日まで)
ラグジュアリーにバーベキューが楽しめるグランド ハイアット 東京『フレンチキッチン』の天蓋付きVIP席。1日1組限定。

MORI LIVINGのサービスアパートメントを選ぶ、5つのポイント

フロントサービス

バイリンガルのフロントスタッフが24時間、万全の体制で入居者の日常をサポート。ホスピタリティに満ちたサービスを提供する。

ハウスキーピング

専門のスタッフがクリーニング、リネン交換などを行うハウスキーピングサービスを週2回提供。清潔で快適な住環境を約束する。

ヒルズスパ

入居者はヒルズスパを利用可能。六本木ヒルズは総床面積1,800㎡の大型スパ内に、プール・ジム・トリートメント施設などを備える。

朝食サービス

「六本木ヒルズスパ」のラウンジでは、朝食サービス(コンチネンタルブレックファースト)のほか、多様な食事メニューを毎日提供。

健康相談室

六本木ヒルズ、愛宕グリーンヒルズフォレストタワーでは、医師とバイリンガル対応の看護師が、健康に関する幅広い相談に応じる。

